

SSH 29年度香港海外研修

SSHの取り組みの1つとして、国際社会でリーダーとして活躍できる科学的人材に求められる資質・能力を育成するために、毎年海外サイエンスプログラムを実施しています。

今年度は、7月31日～8月4日に、5年生5人が香港に、8月6日～8月19日に、4年生10人がオーストラリアのプログラムにそれぞれ参加しています。

ここでは、先日実施された香港海外研修についてお伝えします。香港海外研修は、本年度初めて実施されたプログラムです。香港理工大学で行われたサマーキャンプに参加し、他国の大学生や高校生と交流しました。

<1日目>

成田空港を出発し、約4時間のフライトを経て香港へ。1日目は、これから滞在する学生寮やキャンパスの案内です。香港理工大学の学生さんが、とても親切に案内して下さいました。



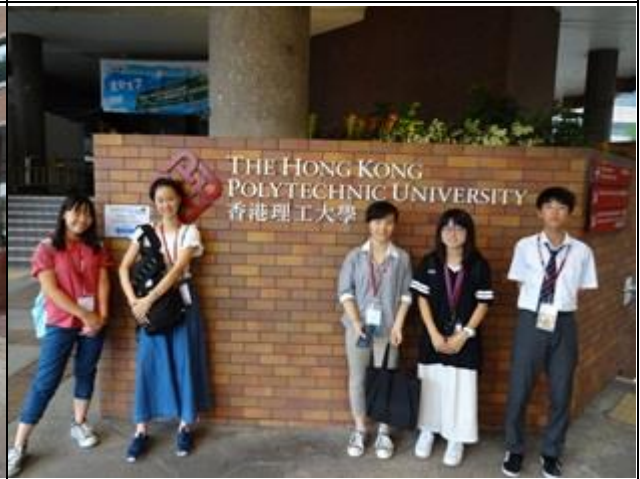
成田空港から、香港に向けて出発です！



学生寮に到着です。青いシャツを着た現地の大学生と記念撮影です。



キャンパスは広大で、とても立派です。



大学の門の前で、集合写真です。

<2日目>

Opening Ceremony のあと、香港理工大学の研究室の見学。午後からは、各プロジェクトに分かれての課題探究です。現地の高校生や他国から来た高校生とともにチームを組み、ロボット製作などの課題に取り組みました。



Opening Ceremony です。大学の説明がありました。



研究室見学の一幕です。立派な設備です。



壁にぶつからず、自分でゴールまで動く車作りに挑戦します。



様々な国から来た高校生と協力していきます。



階段を上る車を製作中です



言葉の壁を乗り越えて、1つのゴールに向かって頑張っています。

<3日目>

午前中はプロジェクトに取り組み、午後は香港市内の工学に関連した組織の見学をしました。夕食は High table dinner です。現地の高校生や大学生、大学の先生方との交流を深めました。



環境問題等に取り組んでいる組織を訪問しました。



High table dinner です。他国の生徒と懇親を深めました。

<4日目>

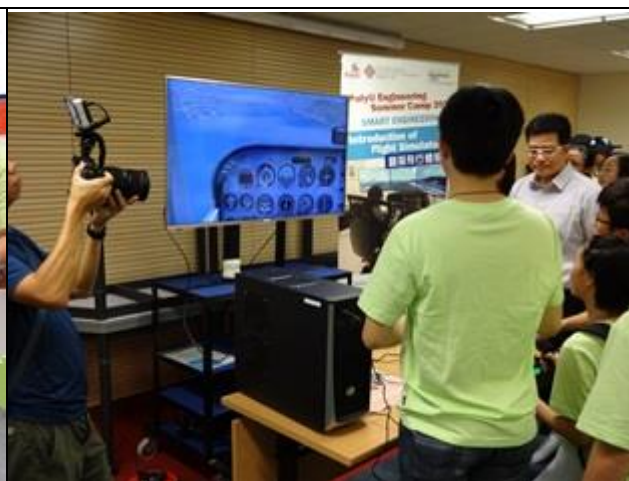
午前中は、Project showcase に出品する製作物を各プロジェクト内で選びました。小石川生が属するチームも選ばれました。

午後は、Closing Ceremony。あっという間のサマーキャンプとなりました。

夕方以降は、研修の合間を縫っての香港市内見学です。香港理工大学は交通の便が大変良く、観光地へのアクセスが容易です。



プロジェクトの代表に選ばれました！



Project showcase の様子です。他のプロジェクトについて学ぶことができます。



Closing Ceremony です。プロジェクトの代表に選ばれ、表彰されています。



香港市内見学の様子です。ガイドマップ片手に目的地に向かっていきます。



思わず写真を撮りたくなる景色ばかりです。



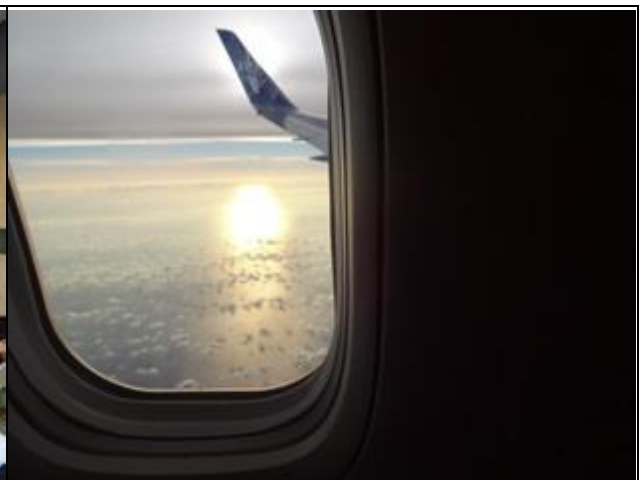
ビクトリアハーバーの夜景を背景に、記念写真です。

<5日目>

充実した香港研修も最終日です。お世話になった大学生の皆さんにご挨拶をし、香港国際空港より帰路につきました。もう少し香港にいて研修したい、そんな声が聞こえる最終日でした。



お世話になった学生寮のチェックアウトの様子です。



日本に向けて、帰路につきました。

4泊5日という短い期間でしたが、大変充実した研修となりました。工学についての知識や技能を学んだのはもちろんのこと、他国の高校生とチームを組み、言葉や文化の壁を乗り越えて課題に取り組むことは、机上の学習では得られない貴重な経験となりました。これからの国際化社会では、高度な知識を身につけるだけでなく、文化や言葉が異なるメンバーと、共同で課題に取り組むためのコミュニケーション能力も必要とされます。今回の研修を通して、そのような能力を高めることもできました。この経験を、SSH 発表会などで発表し、共有していきたいと計画しています。

最後になりましたが、有益な研修に協力していただいた、香港理工大学の皆様に感謝申し上げます。